

第九回島根リハビリテーション学院「桜雪祭」

秋の学園祭シーズンとなった十月二十七日、二十八日の両日、島根リハビリテーション学院の学院祭「桜雪祭」が行われました。

今年のテーマは「絆 愛は患者を救う」で、この日のために学業の合間を縫って準備を進めました。

会場となった学院内では、「食育」、「献血」、「メタボリックシンドローム」等テーマごとの研究発表や展示、中庭では学年ごとの出し物、各種のコンテスト、サークルでの模擬店が並びました。学院一体となった「桜雪祭」



学年ごとの出し物(桜雪祭)

に、両日とも町内外から多くの方が訪れました。

島根デザイン専門学校「百点満祭」

十一月三日、四日には島根デザイン専門学校の学園祭「百点満祭」が行われました。

学生達が毎日の講義の中で学んでいる陶芸やクラフトデザイン等芸術作品の展示や体験コーナー、安来節や三味線のステージ披露など趣向を凝らしたイベントが行われ来場者を楽しませました。



作品展示を楽しむ来場者(百点満祭)

※自衛隊生徒募集のお知らせ

陸・海・空自衛隊では、若きエンジニアを養成し、優れた最新装備を駆使できる専門技術者を求めています。中学校卒業時に入隊し、3年間の高等学校教育終了後、自衛隊の各種専門学校や部隊勤務を経て3等陸・海・空曹に昇任します。

なお、陸上は神奈川県立湘南高等学校、海上は広島県立西高等学校、航空は私立科学技術学園高等学校の卒業資格が得られます。

応募資格 十七歳未満の中学校卒業見込みの男性又は既卒の男性

採用試験 平成十九年一月十三日(土)

場所 自衛隊島根地方協力本部

(松江市学園一丁目の十四)
島根県出雲合同庁舎

(出雲市大津町一三三九)

島根県浜田市合同庁舎

(浜田市片庭町二五四)

受付開始 平成十八年十一月一日(水)
応募締切 平成十九年一月九日(火)

詳しい内容は、自衛隊島根地方協力本部
松江募集案内所 0852(24)6537へ
お問い合わせください。

国保コーナー

「メタボリックシンドロームをご存知ですか？」

最近、「メタボリックシンドローム」という用語をよく耳にしますが、これは、心筋梗塞や脳梗塞など動脈硬化性疾患の危険性を高める内臓脂肪型症候群のことを言います。

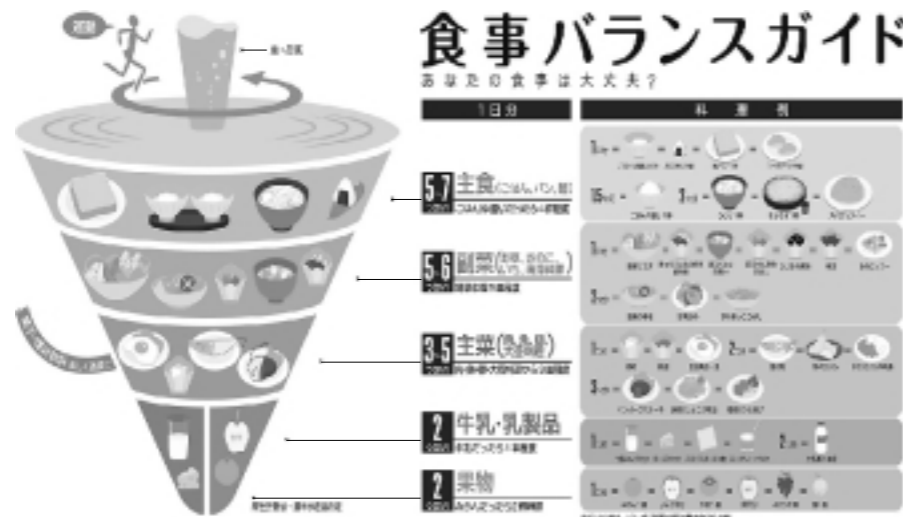
診断の基準は、腹囲(へその位置)が男性85cm以上、女性90cm以上あり、血清脂質異常、血圧高値、または空腹時血糖値異常のいずれか2項目以上に当てはまる人がメタボリックシンドロームと診断されます。これは不適切な食生活や運動不足などの不健康な生活習慣を続けた結果であり、そのまま放置すると脳卒中、心筋梗塞などへと進展する危険度が大きくなります。

そこで「食事バランスガイド」を活用しよう!

「食事バランスガイド」は、1日に何をどのくらい食べたらよいかという目安を示したもので、「コマ」をイメージして食事バランスが悪くなると倒れてしまうことを表現したものです。

1日の摂取量の目安の数値と料理の例が、主に主食・副菜・主菜、牛乳・乳製品・果物に、区分してあります。毎日の食事バランスを確認するものとして活用し、適切な食生活を実践し、メタボリックシンドロームを予防しましょう。

奥出雲町元気プラン21では、栄養・食生活の中で食事バランスガイドを普及・活用することが掲げられています。詳しい活用方法を知りたい方は、厚生労働省のホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyousyokuji.html>)をご覧ください。または、役場健康福祉課保健衛生係までお問い合わせ下さい。



市町村設置型合併浄化槽の設置申請を受け付けています。

町では、生活排水による公共用水域の水質の保全と生活環境及び公衆衛生の向上を図るため合併浄化槽の設置を推進しています。浄化槽市町村整備推進設置事業は町が合併処理浄化槽を設置し、設置後の維持管理も町が行います。合併処理浄化槽の使用にあたっては使用料をいただきます。

現在、合併処理浄化槽設置申請を受付けていますので、設置希望の方は役場水道課まで申請してください。

対象区域：公共下水道区域・農業集落排水区域を除く町内全域。

対象者：平成18年度・平成19年度設置希望の方

分担金：一般住宅・集会所等：135,000円(1基あたり)

共同住宅・事業所等：設置工事費の10%以内(1基あたり)

詳しくは役場水道課下水道係へお尋ねください。(水道課TEL 52 - 2676)

カルチャープラザ仁多図書室 新刊紹介

「ミッシングガールズ」 松原 秀行 著
野沢レイは天の川学園の高校1年生。「現代アート研究会」に所属し、毎日がアートな気分。ところが、卒業生が残した謎のメッセージがみつかり、気分はミステリーモード。おまけに学園には、あやしい影がしのびより・・・。

「はなかつぱ」 あきやま ただし 著
はなかつぱくんの頭には、お皿の代わりにお花のつぼみがついています。さあどんなお花がさくのでしょうか。きれいな水と空気、そして楽しい家族と大切な仲間が、元気のもと。そんなメッセージがこめられた本。

「ひとがた流し」 北村 薫 著
高校からの幼なじみの千波、牧子、美々。千波が不治の病を宣告され、3人はそれぞれの思いや願い、記憶の断片を思い起こしていく。かけがえのない友よ、時間たちよ。「朝日新聞」に連載された、北村薫の心揺さぶる長編小説。

*寄贈 仁多ライオンズクラブ 様 金一封

12月の休館日
4日、11日、18日、23日、25日
29日～31日